

講 義 名	7類・技術者倫理		
開 講 時 期	後学期	単位数	
担 当 教 員	濡木 理教授 非常勤講師（橋本 義平）		

**【講義のねらい】**

技術者の仕事は社会に貢献することを目指す、その反面で危害を与えることがある。技術者は科学技術がもたらす危害を抑制し、公衆を災害から救い、公衆の福利を推進するために働くが、その意思決定の基本に技術者倫理がある。つまり専門能力に優れていても、技術者として適格でないことがありえる。正直性・真実性・信頼性に象徴される資質を欠く人は技術者にむかない。

**【授業計画】**

第1回：「組織の中の個人の役割」についての講義（1月18日）

技術者は、すべての人にとって生活の質に直接的かつ重大な影響力がある科学技術に携わる専門職として正直および誠実の最高の基準を示すものと期待されている。一般的に人間としての責務と思われるこれらのことがなぜ技術者の責務として取り上げられるのだろうか。

第2回：「グローバル化の中の技術者」についての講義（1月25日）

技術者という職業は科学や技術の知識を応用して物質と機械の最適な利用を図る仕事であるから、それぞれの地域の条件が技術者の障害になることはない。地域の自然・労働条件・関連する技術規格のことをよく知ればそこで十分な仕事ができる。このようにグローバル化する環境で活躍する技術者になにが必要とされるかについては、まず技術者という職業が社会にどのように認知されてきたかを知ることが望ましい。

**【成績評価】**

レポート

**【テキスト等】**

参考書：杉本泰治・高城重厚「第三版 大学講義 技術者の倫理入門」丸善・2005年

**【履修の条件】**

なし

**【担当教員から一言】**

「やってはいけないこと」を学ぶのではなく、「やってはいけないこととはどのようなことかを考えること」を学ぶきっかけとして欲しい。